

# 製品安全データシート

P. 1/6

最新改訂版作成日:2009年 9月 10日  
S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

## 1. 製品および会社情報

### 製品名

リボンカートリッジ S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

### 会社情報

販売会社 : エプソン販売株式会社  
住所 : 〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 24F  
電話番号 : 03-5321-4111(代) FAX 番号 : 03-5321-4198

製造業者 : セイコーエプソン株式会社 ビジネスシステム事業部  
住所 : 〒399-8702 長野県松本市寿小赤 2070

## 2. 危険有害性の要約

緊急事態概要 : インクは黒い液体で、眼を刺激するかもしれません。眼や衣服につかないようにしてください。皮膚についた場合は、石鹼と水で洗い流してください。子供を近づけないようにしてください。

重要危険有害性 : 通常の使用条件下では危険有害性は予測されません。

特有の危険有害性 : 情報なし

主要な徴候:

眼 : インクが眼に入った場合は、軽い刺激があるかもしれません。

皮膚 : インクが皮膚に触れた場合には、軽い炎症を起こすかもしれません。

吸入 : 通常の下条件下では該当しません。

摂取 : 気分が悪くなるかもしれません。

## 3. 組成、成分情報

### 単一製品・混合物の区別:混合物

油性インクの成分表(\*は当社の機密情報のため開示できません)

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法 <sup>(1)</sup> 安衛法 <sup>(2)</sup> )	CAS No. <sup>(3)</sup>
色材*	25 - 30	— *	— *
色材(銅化合物)*	< 5	— *	— *
脂肪酸*	30 - 35	— *	— *
有機成分*	35 - 40	— *	— *

## 製品安全データシート

P. 2/6

最新改訂版作成日:2009年 9月 10日  
S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

### 4. 応急処置

- 吸入した場合 :新鮮な空気のある場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。
- 皮膚に付着した場合 :水と石鹼で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。
- 眼に入った場合 :直ちに、室温、低圧、清浄な水で 15 分以上、洗い流す。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合 :水で口の中をうがいし、速やかに専門医の診断を受けてください。
- 応急措置をする者の保護 :特になし
- 医師に対する特別注意事項 :なし

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 :水噴霧、泡、化学消火剤、二酸化炭素
- 特有の消火方法 :吸入器具以外の特別な方法を必要としません。爆発の危険性は無いとおもわれます。
- 消火を行う者の保護 :必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 引火性 :可燃物。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 :手についたインクは水と石鹼でよく洗い流してください。
- 保護具と緊急時措置 :必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用してください。
- 環境に対する注意事項 :下水に流さないでください。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 :スポンジなどを用いて液体を拭き取り、それを密閉容器に入れ、適切な方法で廃棄してください。作業の際には、換気をしてください。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 :通常の手扱いは必要ありません。
- 局所排気・全体換気 :通常の手扱いは必要ありません。
- 注意事項 :眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。また、インクリボンを舐めないようにしてください。
- 接触回避 :通常の手扱いは必要ありません。
- 安全取扱い注意事項 :カートリッジを分解しないでください。
- 保管
- 保管条件 :直射日光を避け、常温常湿で保管してください。火気から遠ざけてください。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。
- 容器包装材料 :適用外(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

## 製品安全データシート

P. 3/6

最新改訂版作成日:2009年 9月 10日  
S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

### 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 :

製品	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV <sup>(4)</sup>	OSHA PEL <sup>(5)</sup>
インクリボンプリンタ用 インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策 : 必要としません。

保護具

- 呼吸器の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 手の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 眼の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。  
 皮膚及び身体の保護具 : プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。

### 9. 物理的及び化学的性質

塗布したインクについて

- 外観(形態、色) : 黒色  
 臭い : わずかな臭い  
 pH : データなし  
 融点・凝固点 : 0°C以下  
 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 180°C以上  
 引火点 : 183°C  
 引火性 : 可燃物  
 爆発範囲 : なし  
 蒸気圧 : データなし  
 蒸気密度 : 有効データなし  
 比重(密度) : 約 1.0  
 溶解度 : 難溶(水への溶解度)  
 n-オクタノール/水分配係数 : 有効データなし  
 蒸発速度 : 有効データなし  
 燃焼性(固体・ガス) : 有効データなし  
 粘度 : 有効データなし  
 その他のデータ : なし

### 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。  
 危険有害反応可能性 : 常温では反応性はありません。  
 避けるべき条件 : 一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。  
 混触危険物質 : 酸化剤、爆発物  
 危険有害な分解生成物 : 常温では分解しません。

# 製品安全データシート

P. 4/6

最新改訂版作成日:2009年 9月 10日  
S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

## 11. 有害性情報 労働省の有害基準<sup>(6)</sup>については 16. その他を参照のこと インクについて

急性毒性 :

経口LD 50 <sup>(7)</sup>	経皮LD 50 <sup>(7)</sup>	吸入LC 50 <sup>(8)</sup>
データなし	データなし	データなし

皮膚腐食性・刺激性 :データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性 :データなし

呼吸器または皮膚感作性 :データなし

変異原性 :データなし

生殖毒性 :データなし

吸引性呼吸器有害性 :有効データなし

慢性毒性・長期毒性 :有効データなし

発がん性 :IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ 1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

残留性・分解性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

生体蓄積性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

土壌中の移動性 :環境への影響について、有効なデータはありません。

## 13. 廃棄上の注意

当該法規(国・都道府県および地方の法規・条例)に従って廃棄物処理をおこなってください。

外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## 14. 輸送上の注意

国際規制 :該当しません。

国連番号 :該当しません。

品名(国連輸送名) :該当しません。

国連分類 :該当しません。

容器等級 :該当しません。

海洋汚染物質 :該当しません。

## 15. 適用法令

消防法 :第4類第3石油類に該当するインクを使用しています。

労働安全衛生法 通知対象物 :クロム及びその化合物(142)、銅及びその化合物(379)をインク中に含有します。

化学物質排出把握管理促進法<sup>(9)</sup> :第1種指定化学物質 政令番号 87 を 1.5%含有します。

その他 :該当しません。

16. その他の情報

- (1) 化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
- (2) 安衛法: 労働安全衛生法
- (3) CAS No.: Chemical Abstract Service Registry Number
- (4) ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生  
専門家会議)で定めた Threshold Limit Value(許容濃度)
- (5) OSHA PEL: Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めた  
Permissible Exposure Limit(許容暴露限度)
- (6) 労働省の有害基準: 労働省通達基発第 395 号(H 4-7-1) 化学物質などの危険有害性  
試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準  
有害基準として: 経口毒性 : (LD 50) 500 mg/kg以下  
吸入毒性 : (LD 50) 20 mg/L以下  
皮膚刺激性 : 紅斑 2 以上(平均)  
浮腫 2 以上(平均)  
眼刺激性 : 角膜 2 以上(平均) 虹彩 1 以上(平均)  
結膜発赤 2.5 以上(平均)  
結膜水腫 2 以上(平均)  
皮膚感作性 : 30%以上(アジュバンド有り)  
変異原性 : 労働省告示第 77 号 変異原性が認められその比活性が  
比験物質 1 mgあたり 1000 以上
- (7) LD50: Lethal Dose 50 50%致死量
- (8) LC50: Lethal Concentration 50 50%致死量
- (9) 化学物質排出把握管理促進法: 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の  
改善の促進に関する法律

<引用文献>

- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Values for Chemical Substances and  
Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the  
Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

## 製品安全データシート

P. 6/6

最新改訂版作成日:2009年 9月 10日  
S015088/S010035/VP5200RC/VP5200RP

---

本文書の記載内容は、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に指定された通常の条件下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。

---